



産直ニュース（農・畜・水産）6週号



生活クラブの産直材は、より美味しくより安心して頂ける様に生産者を指定しています。このため、天候・生育状況等によってはお届け週が予定変更になる場合や、緊急にお知らせが必要な場合もありますので、本ニュースで産地の状況をお知らせします。

生活クラブ関西

今週のカタログ青果情報（欠品・遅配等）

番号	消費材名	生産者	内容
98	菜の花150g	王隱堂農園	全曜日欠品 (干ばつによる生育不良)
68	レモン400g	JA越智今治	収穫量減少のため、豊共園に変更となります 栽培マークは「減・減」から「減・無」に変更です 価格は309円から294円へ変更します
91	ほうれん草 200g	沃土会	「いわみ地方有機野菜の会」に生産者を変更してお届けします 栽培マークは「減・減」から「無・無」に変更です
99	わさび葉 200g	王隱堂農園	「いわみ地方有機野菜の会」に生産者を変更してお届けします 荷姿は摘み葉タイプから株ごと収穫するタイプに変更です 栽培マークは「減・減」から「無・無」に変更です

今週のよやく・る青果配達について

消費材名	生産者	状況等
ふじ⑪	ハケタ会・あくと 御牧ヶ原	次週で終了です
伊予柑③	福岡自然農園 無茶々園	今週で終了です
ポンカン②	アイワ研究会 無茶々園	次週で終了です

■いちご（島原自然塾）のお届けについて

今週は登録（ケース・パック）と予約⑥のパックです。予約⑥ケース全曜日は欠品となります。一番果（苗を植えてから最初にできるいちご）が終了し二番果への移行期となっています。暑さの影響もあり、ミツバチの動きが鈍り、生育が遅れています。

■「いちご（島原自然塾）」の追加案内があります！

いちごも甘さを追求し様々な品種が開発されていますが、「ゆめのか」という品種は甘味に特化した品種ではありません。「ゆめのか」を採用している背景は、長崎から関西への輸送に向いていることと、比較的病気に強いことです。ハウス内で高温多湿となるとカビ、細菌、虫が発生しやすい環境にあり、通常は頻繁な薬剤散布（長崎県慣行栽培は65回）で予防します。

生産者の高原浩一郎さんは「化学合成農薬不使用・無加温栽培」を続けており、どの生産者も「これは絶対にできない！」と言うほどです。天候には左右されてしまうところも多いですが、3月からは例年安定した出荷量（週間最大6,700パック）となっていきます。案内チラシが配布されていますので、忘れずにお注文をしてください！

■「はるか 1kg（肥後あゆみの会・豊共園）」がカタログ企画で新登場！



倉富一義さん

今村和弘さん

2月初旬に無茶々園でもはるかの企画はあります。2月の出荷となります。肥後あゆみの会の倉富さんと今村さんはスイートスピングルも出荷しており、豊共園はお馴染みの梶本さんです。「はるか」は見た目が黄色のために酸っぱいイメージがありますが、実は酸味が気にならない柑橘です。この時期は多くの柑橘があるために、「はるか」の出荷時期は生産者によって異なります。

特に九州と四国の柑橘産地の今シーズンはどこも大豊作です。多様な柑橘のなかでも際立った個性をもつ「はるか」ですので、ぜひとも試してみてください！

生産者へ声を届けよう！

「じゃがいも・にんじん・玉ねぎ」の生産者コメントは二次元コードよりお願いします。
※傷みやクレームに関する内容は、配達担当者または担当事業所へご連絡下さい。

